

# Z-61-A 簿記論〔第一問〕－解答－

(黒丸数字は予想配点を示す。以下同じ。)

問 1

(単位：円)

(1) (ア)約定日基準による仕訳						
②	平成X1年3月30日	(借)	投資有価証券	( 250,000)	(貸)	未払金 ( 250,000)
②	平成X1年3月31日	(借)	其他有価証券評価差額金	( 10,000)	(貸)	投資有価証券 ( 10,000)

(1) (イ)修正受渡日基準による仕訳						
②	平成X1年3月30日	(借)	仕訳なし	( )	(貸)	( )
②	平成X1年3月31日	(借)	其他有価証券評価差額金	( 10,000)	(貸)	投資有価証券 ( 10,000)

(2)の仕訳						
②	平成X1年12月23日	(借)	担保差入金	( 300,000)	(貸)	借入有価証券 ( 300,000)

(3)の仕訳						
②	平成X2年3月31日	(借)	繰延ヘッジ損益	( 50,000)	(貸)	借入有価証券 ( 50,000)

問 2

(単位：円)

③	(1)	(借)	現金	( 900,000)	(貸)	自己株式 ( 1,150,000)
			其他資本剰余金	( 250,000)		( )
③	(2)	(借)	其他資本剰余金	( 920,000)	(貸)	自己株式 ( 920,000)
			( )	( )		( )
③	(3)	(借)	当座預金	( 1,500,000)	(貸)	資本金 ( 120,000)
			( )	( )		自己株式 ( 1,380,000)
②	(4)	(借)	仕訳なし	( )	(貸)	( )
			( )	( )		( )
②	(5)	(借)	繰越利益剰余金	( 650,000)	(貸)	其他資本剰余金 ( 650,000)
			( )	( )		( )

なお、全ての欄に記入するとは限らないので、必要のない欄は空白のままにすること。

Z-61-A 簿記論〔第二問〕－解答－

問1 各1点

(単位：千円)

ア	短期貸付金	イ	36,300	ウ	135,000	エ	売上原価
オ	売上	カ	割賦売掛金	キ	630,000	ク	研究開発費
ケ	ソフトウェア	コ	研究開発費				

問2 各2点

(単位：千円)

(1)	19,000	(2)	39,000
-----	--------	-----	--------

問3 各1点

(単位：千円)

ア	1,600	イ	1,000	ウ	3,300	エ	500
オ	2,000						

問4

(単位：千円)

	借 方		貸 方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
㊦ (1)	売買目的有価証券	420	有価証券評価損益	420
	売買目的有価証券	94,920	売買目的有価証券	10,920
			当座預金	84,000
㊦ (2)	その他有価証券	94,500	その他有価証券	10,500
			当座預金	84,000

なお、全ての欄に記入するとは限らないので、必要のない欄は空白のままにすること。

◎ 問1のエ～キについては、次の解答も考えられる。

エ	リース債権
オ	売上
カ	売上原価
キ	165,000

Z-61-A 簿記論〔第三問〕一解答一

(単位：円)

No.	勘定科目	金額	No.	勘定科目	金額
1	現金	② 1,120,000	21	一括評価貸倒引当金繰入	① 3,308,420
2	当座預金	② 12,456,000	22	個別評価貸倒引当金繰入	② 1,348,000
3	外貨売掛金	② 15,207,000	23	退職給付費用	① 1,450,000
4	国内売掛金	② 77,109,000	24	その他人件費	② 40,776,580
5	商品	① 28,675,500	25	減価償却費	① 2,728,500
6	前払費用	② 122,000	26	為替差損	① 221,000
7	建物	② 41,843,750	27	雑損失	① 423,000
8	有価証券	① 68,377,000	28	固定資産売却損	① 902,500
9	破産更生債権等	② 1,685,000	29	有価証券評価損	① 1,973,000
10	繰延税金資産	② 16,831,800	30	法人税等	① 6,223,800
11	未払金	① 15,012,500	31	法人税等調整額	① 176,200
12	未払法人税等	① 2,691,832	32	売上高	② 527,287,000
13	未払消費税等	② 3,497,500	33	有価証券評価益	① 3,800,000
14	賞与引当金	② 2,845,000	34	為替差益	① 894,000
15	退職給付引当金	① 38,950,000	35	雑収入	① 133,000
16	資本金	① 50,000,000			
17	その他有価証券評価差額金	① 17,490,000			
18	売上原価	② 423,360,000			
19	収益性低下評価損	① 220,500			
20	営業費	② 25,285,000			

◎ 別解として次の金額も考えられる。

25	減価償却費	2,604,000
28	固定資産売却損	1,027,000

## 簿記論【総評】

### 〔はじめに〕

第一問と第二問がすべて個別問題であり、一見取り組みやすそうに見えるが、信用取引など学習簿記ではあまり扱われない取引であったり、題意の把握に苦慮する部分もあり、思ったほど得点は伸びないかもしれない。第三問についても、昨年ほどの大容量ではないものの、誤った決算整理後残高試算表を修正するという構造で、前提となる誤処理を読み取りながら解き進める必要があり、通常の問題より手間を要するものであった。ただ、問題の取捨選択の判断は比較的容易であったと思われ、全体を通じて滞りなく解答を進めることができれば、結果的に効率よく得点を重ねることができたはずである。

### 〔第一問〕

問1の(1)と問2の(1)～(4)のうち6カ所以上を正答できていればよいであろう。

予想ボーダーライン：15点～17点

### 〔第二問〕

問2と問3を中心として、10～12カ所を正答できていればよいであろう。

予想ボーダーライン：13点～15点

### 〔第三問〕

有価証券、有形固定資産、退職給付引当金、賞与引当金関連を中心として、15カ所以上を正答できていればよいであろう。

予想ボーダーライン：20点～22点

### 〔合格ライン〕

簿記論の予想合格ボーダーライン：50点～52点